

令和元年(2019年)10月28日

「はわい温泉・東郷温泉旅館組合」 組合長 様

NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 支部長 土居 克夫

「クリスマス花火鑑賞2018への抗議と 2019年の開催中止の要望書」

貴組合に対し、かねてからクリスマス花火のイベント中止を要望してきたところですが、要望は聞き入れられことなく開催され、天神川をめぐらしているコハクチョウに大きな影響を及ぼしたことについて、強く抗議するとともに、改めて2019年以降のクリスマス花火の中止を要望します。

昨年12月22日、23日に花火に対してコハクチョウがどのように行動したかは、下記のとおりです。

近年、中部天神川流域で越冬するコハクチョウの数が減少しています。花火だけの影響とは断定できませんが、少なからぬ影響はあると思われまます。大きな群れではありませんが、自然環境に対して大きな影響を及ぼす力を持つ人間はもっと野生動植物への配慮が必要と考えます。

安息できる越冬地を求めて飛来したコハクチョウに対し、大きな脅威となるクリスマス花火は速やかに中止し、他のイベントへ変更されることを再度、強く要望します。

別記 「2018年クリスマス花火のコハクチョウへの影響」

1 調査日 2018年12月22日(土)、23日(日)

2 調査結果

<22日>

コハクチョウは、天神川の北野神社対岸の上流に10羽、さらに上流に6羽確認した。

20:15に花火が開始されると、コハクチョウは鳴き交わり、首をもたげ、南へ飛び立った。

その後、上流でコハクチョウの鳴き声が聞こえたが、姿は確認できなかった。

<23日>

午後4時すぎには天神川に戻ってきた13羽を確認した。

20:15に花火が開始すると6~7羽の2つの集団が上流へ向け飛び立つ。最初の集団はしばらくして東方向へ、後の集団も遅れて東方向へ。その後姿確認できなくなった。

担当:事務局 津森(090-1188-6659)、副支部長 谷口(080-3891-6093)

／以上